

# 中央農業懇談会で事例発表 (農業経営者クラブ)

農業経営者クラブ中央農業懇談会が、令和5年11月2日にJA 鹿児島県経済連会館で開催されました。

徳之島支部を代表し、林栄作氏(天城町)が「さとうきびと肉用牛の耕畜連携で高品質・安定生産を目指す」のテーマで事例発表しました。

林氏は、肉用牛繁殖とさとうきびの複合経営を営む中で、ハカマ・バカスの敷料や飼料利用、自家堆肥のさとうきび畑還元利用でコスト低減と単収向上を図っており、これをさらに地域へ拡大し、さとうきび農家と連携することで、互いの未利用資源活用によるWin-Winの関係づくりを進めたいと述べられました。



林栄作氏 事例発表の様子



ハカマ・バカスの敷料利用例

## 赤土流出防止対策について

近年、徳之島では河川や海域への土砂流出が進み、海洋への影響が問題となっています。

この問題を解決すべく、農業普及課では、ハカマブロック設置による土砂流出防止事例の紹介や、赤土流出防止広報用マグネットシートの公用車装着による啓発など活動を行ってきました。

また、梅雨時期や夏季に、ほ場が裸地になっていることが土砂流出の原因の一つと指摘されており、今年度は実証試験として、ばれいしょ後作での期間借地による飼料作物の生産を行いました。



ばれいしょ後作の飼料作物実証ほ



ハカマブロックを利用した土砂流出防止対策の事例



徳之島地域の豊かな自然環境の保全に向け、土砂流出防止対策活動を続けていきます。今後もご協力をよろしくお願いいたします。